エンジニアリング系レジン

Flexible 80A Resin

可撓性のある硬質なプロトタイプのプリントに最適なFlexible 80A Resin

Flexible 80A Resinは、FormlabsがリリースしているFlexible / Elasticレジンファミリーの中で最も剛性が高いソフトタッチの素材で、ショア硬度をゴムやTPUの弾力性に匹敵する80Aに設定されています。

柔らかさと強度をバランスよく両立させているFlexible 80A Resinは、繰り返し使用しても、曲げ、 屈曲や圧縮に耐えられるように設計されています。この素材は、緩衝材、制振材や衝撃吸収材の 製作に最適です。

ハンドル、グリップやオーバーモールド

軟骨や靱帯の組織構造

シール、ガスケットやマスク





FLFL8001

formlabs 😿

メートル法¹

英単位系1

方法

	未処理	二次硬化後2	未処理	二次硬化後 ²	
機械的特性					
極限引張強度3	3.7MPa	8.9MPa	539psi	1290psi	ASTM D 412-06 (A)
伸び率50%の応力	1.5MPa	3.1MPa	218psi	433psi	ASTM D 412-06 (A)
伸び率100%の応力	3.5MPa	6.3MPa	510psi	909psi	ASTM D 412-06 (A)
破断伸び	100%	120%	100%	120%	ASTM D 412-06 (A)
ショア硬さ	70A	80A	70A	80A	ASTM 2240
圧縮永久ひずみ(23°Cで22時間)	未試験	3%	未試験	3%	ASTM D 624-00
圧縮永久ひずみ(70°Cで22時間)	未試験	5%	未試験	5%	ASTM D 395-03 (B)
引裂強度4	11kN/m	24kN/m	61lbf/in	137lbf/in	ASTM D 395-03 (B)
23°Cでのロスフレックス疲労	未試験	>200,000 サイクル	未試験	>200,000 サイクル	ASTM D1052、(ノッチ付き) 60°曲げ、1分当たり100サイクル
-10℃でのロスフレックス疲労	未試験	>50,000 サイクル	未試験	>50,000 サイクル	ASTM D1052、(ノッチ付き) 60°曲げ、1分当たり100サイクル
ベイショア復元力	未試験	28%	未試験	28%	ASTM D2632
熱的特性					
ガラス転移温度 (Tg)	未試験	27°C	未試験	27°C	DMA

¹材料特性は、パーツの形状、プリント の向きや設定ならびに温度によって 変わります。

溶剤の親和性

プリント後に二次硬化させた1x1x1cmの立方体を それぞれの溶剤に24時間以上浸している間の重量増加率:

溶剤	24時間の重量増加率(%)	溶剤	24時間の重量増加率(%)
酢酸、5%	0.9	過酸化水素 (3%)	0.7
アセトン	37.4	イソオクタン(別名ガソリン)	1.6
イソプロピルアルコール	11.7	鉱油、軽	0.1
漂白剤、~5% NaOCl	0.6	鉱油、重	<0.1
酢酸ブチル	51.4	塩水 (3.5% NaCl)	0.5
ディーゼル	2.3	水酸化ナトリウム(0.025%、pH=10)	0.6
ジエチルグリコールモノメチルエーテル	19.3	水	0.7
油圧オイル	1.0	キシレン	64.1
Skydrol 5	10.7	強酸(HCI濃縮)	28.6
トリプロピレングリコールメチルエーテル	13.6		

²このデータはFlexible 80A Resinを使って 積層ピッチを100μmに設定したForm 3で プリントしてForm Washで10分間洗浄し た後、温度を60°Cに設定したForm Cure の環境内で10分間、二次硬化させたパー ツから取得したものです。

³引張試験については、温度を23℃に設定した環境内で3時間以上経過してから、シートから切り取ったDie C 試料を使って実施しています。

⁴引裂試験については、温度を23℃に設定した環境内で3時間以上経過してから、 直接プリントしたDie C 引裂試験用試料 を使って実施しています。